

2011.1.18同志社大学心理学部「ヒューマンモチベーション」

# “学力不振生徒”の指導現場から

～個別指導のすべきこと～

サポーツ京田辺 代表 岡本康志

## <プロフィール>

某上場進学塾に勤務し、進学塾・個別指導・家庭教師、各部門を歴任。生徒ひとりひとりの個性にあわせた進学指導に、10年以上尽力してきた。

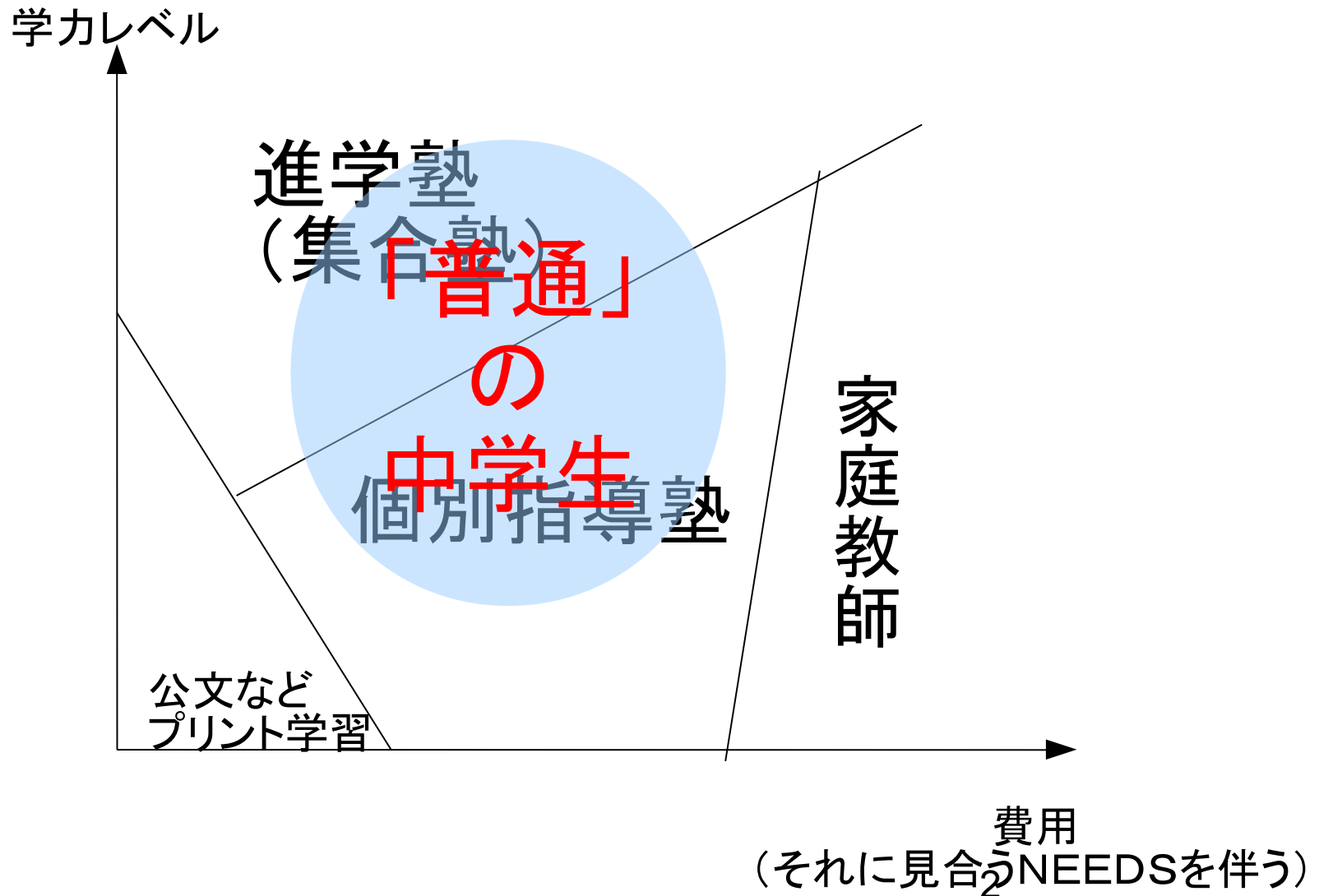
しかし、“詰め込み教育”などと言われるように、あくまで進学を目的とした教育指導の範疇では、むしろ逆効果になってしまう生徒さんに適した学習指導を実現するため、2010年3月近鉄新田辺東側に“サポーツ京田辺”を設立した。

あなたの学習をサポートします。

Supports  
個別指導 学習塾

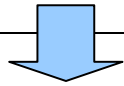
サポーツ京田辺

# 学習形態選択のイメージ



# ”集合授業”と”個別指導”

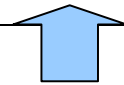
集合授業	個別指導
”一般的”に必要とされる 学習内容を指導	”その生徒”に必要とされる 学習内容を指導
”クラス大半”に成果ができれば、 ”良い指導”	”その生徒”に成果が 出なければ”良くない指導”



2:6:2の法則

リーダー ↑ 普通 ↑ 落ちこぼれ

上位2割を掴めば”いい先生”!!  
「ついてこれない奴は、お前が悪い!？」



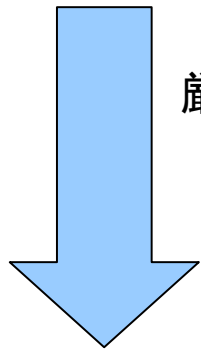
基本的には、下位がターゲット

= 割高な指導を受ける必然性

ターゲット顧客は、「学力不振の生徒」  
かつ、  
指導者が「結果責任」を負う

# なぜ”学力不振”？

## 努力不足？



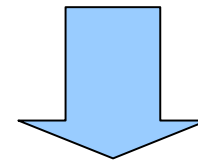
厳しくシゴけばできる??

→ 厳しい”進学塾”に行けばいい。

「厳しさ」は、親・学校から指導されているはず!?  
＝それでも解決できていないから、  
”学力不振”になっている。  
＝”根性”はない。

**学力不振の解決には、  
「やる気向上」が不可欠**

## 能力不足？



「普通学級」に居る限り、現状は「異常」ではない。  
＝軽度発達障害なども「普通」として対応。  
(アスペルガー・ADHDなど)

※約1割が診断を受けるレベルと言われる。  
境界域の生徒も、同様の対応をすべきとみなす。

＝一般的な「解説」・「演習」が  
十分機能しない。

＝”現有能力”を最大限に発揮させる  
(≠能力開花を求める)

＝「普通の成果」を得るために、  
人並み以上の努力を強いることになる。

# 「指導」とは何か？

一般的な「指導」とは？

集合授業の「講義」＝一般的に必要な知識を話す。

集合授業の「演習」＝一般的に必要な練習方法を指示する。

個人にとって、「必要」「不必要」は各自判断の前提  
(＝予習復習は自己責任とさせる。)

それができるなら、  
「学力不振」には  
ならない!!

「講義」が必要な生徒なら、進学塾・予備校でカリスマ講師の指導を受けるべき  
「演習」が必要な生徒なら、個別指導授業で演習をするのは合理的でない。

＝個別指導で、集合授業を手取り足取りしても、成果は見込みにくい

**個別指導は、集合授業とは違う「指導」をせねばならない！**

# 「個別指導」とは何か？

~~ひとりひとりに合わせて  
丁寧に指導すれば  
出来るようになるはず・・・。~~

音楽なら、ボイストレーニング  
体育なら、フォーム改造  
が”個別指導”

そんな専門知識や経験がないので、”個別指導”はできない!?

個別指導の生徒は、「勉強ができない」層です。  
つまり、根本的に間違った「やり方」をしている人たちです。  
「明らかな間違い」を修正するだけで、現状打開することはできます！

# 個別指導で「指導すること」。

「知識を与える」なのか??

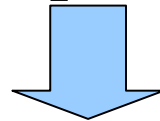
そうならば、  
情報が飽和している現代においては、先生は不要??

先生の役割とは・・・

「理解できない事」を「理解できるようにする」

その最大の阻害要因・・・

「理解できない」という”あきらめ”



「理解しよう」という気持ちにさせる

# 「気持ちを変える」とは・・・？

その生徒にさせたい気持ち

※あくまで、その生徒がなり得る「気持ち」理想論はNG

「その生徒」の状態を  
どれだけ“理解”できるか!?

「どんな言葉を掛けたら、  
どんな反応をするか」  
という想定がポイント

その生徒の現在の気持ち

※「普通は・・・」という判断は厳禁。

好ましくない行動も  
すべて、想定しておく。



# 学力不振生徒の心理①「あきらめ」

「努力＝苦勞」という親や教師の誤解から、  
”苦勞”を強いられてきた。

さらにその”苦勞”が報われないから、「あきらめる」

成果の出ないことは、させてはいけない。

実行可能で、確実に成果(自分にとってのメリット)の出ることがわかれば、必ず取り組む。

⇒闇雲な指導や、作業の押し付けが、「やる気のない生徒」を産む。

# 学力不振生徒の心理②「丸暗記」

勉強とは、とにかく我慢して、  
目先の課題を「処理すること」  
ということが刷り込まれている。

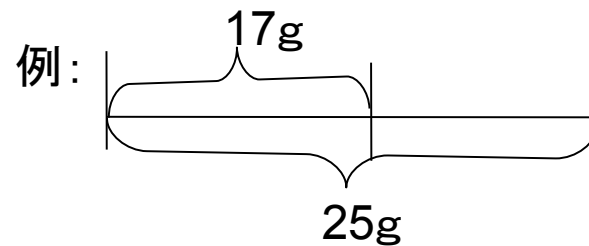
- ・解法パターンに当てはめるだけ。
- ・問題を読まない。見直さない。
- ・「理解する」という概念が希薄
- ・直感的・反射的に「処理」する。
- ・闇雲に「頑張ります」とは言う。

「勉強ができないのは、暗記量が足りない。」と考えるため、  
より一層、理解の楽しさ・勉強の意義がわからず、勉強したくなくなっていく。

# ”学力不振生徒”の実例①

<中3通知簿「2」以下の”学力”>

- ・割り算の筆算ができない
- ・「b」と「d」の区別が付いていない
- ・「単語」という概念が薄い 例: This is a pen.
- ・線分図の理解ができない。
- ・「動詞は?」「person」
- ・テストは5分。後は寝る。



# ”学力不振生徒”の実例②

## ＜”学力不振生徒”に現れる現象＞

- ・「基本」はできるようになったのに、「発展」をしたら、「基本」もできなくなる。＝「思考の限界」＝混乱
- ・「ケアレスミス」が異常に多い。「見間違い」「聞き間違い」「言い間違い」に気づけない。＝「注意力」の問題
- ・勉強すると、「息があがってくる」  
＝「思考する体力」の問題

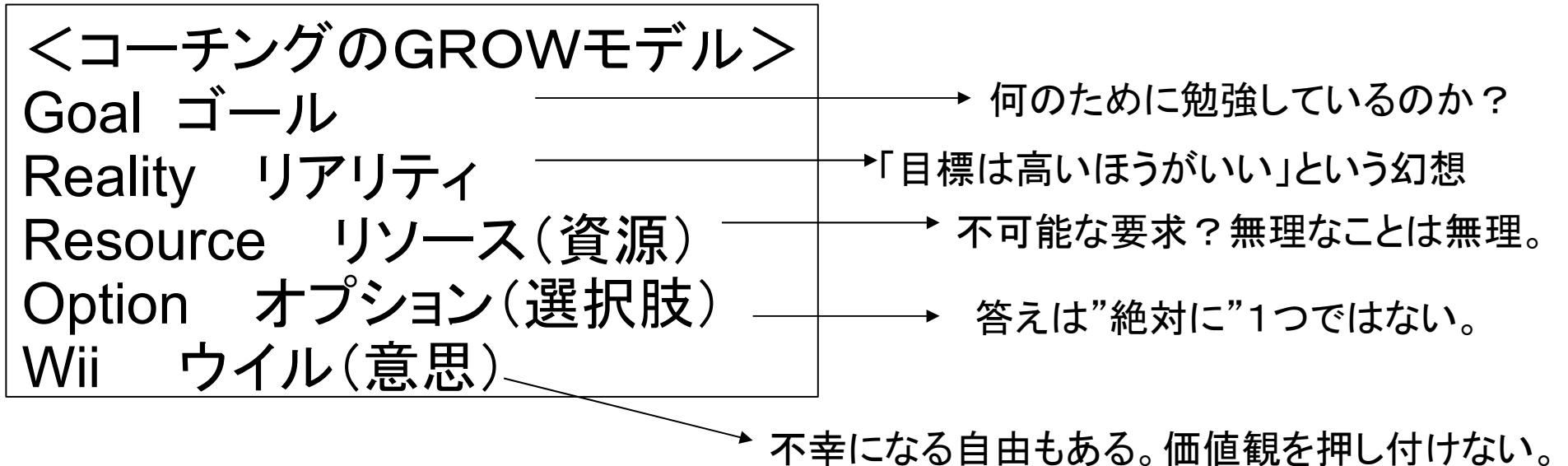
# ”学力不振生徒”の実例③

## ＜生活習慣の問題＞

- 学校の夏休みの宿題すらしない。
- 時間通りに来れない。
- テストの日程すら把握していない。
- 雨が降ると機嫌が悪い。
- 一旦、毎日定時に自習に来るという習慣がついても、その日の科目はもちろん授業なのか自習なのかを把握せず来る。休校日もとにかく来る。

⇒ 日常生活のほとんどを把握できず、  
惰性で<sup>13</sup>過ごしている。

# やる気にさせる



**指導者自身が、妄信的な固定観念を拭い去る必要**

# 一見良いようでNGな指導

- ・「わかった？」という確認
- ・「ひとつとおり教えました。」(覚えたかは本人次第)
- ・「復習しておく」「覚えておく」という宿題
- ・「今日もやる気がなくて・・・」という報告

どれも”結果責任”を負っていない態度。  
「そういう生徒」という前提で、指導者は何ができるか？

# ”学力不振生徒”への「指導」

※「さかのぼって基礎から復習」

中3に分数(小4)から復習したら、5年分遅れ続ける…

「知識の不足」以前の問題(気持ち)が根本的な原因。

※悪循環例

補習⇒疲労⇒意欲減退⇒学習量の減少⇒成績不振

では、指導者は、何をすることができるのか??

## 問題解決へのストーリーを描く

「問題解決の方法はある」ということを理解。  
確実に、メリット>デメリットなら、人は行動できる。



# 「個別指導」とはプランニング

★現状予測される結果のMAX-MINを想定。

※そのためには、「生徒を知る」必要性

★「着地点」を提示すること

必ずしも「成績を上げる」ことができるとは限らない。

※「着地点」を共有する＝目的を明確にする。

＝結果責任を明確にする。

★「目標」は、あくまで「人生の通過点」という認識

※結果を問わず、それが終わりではない。ゆえに、「努力の仕方」が大事。

# 特別な「知識」は必要ない。

プランニングをするために、もちろん、  
多少の指導How toはあるに越したことはない。  
しかし、必要不可欠なのは、「生徒を見る目」

「結果責任」を追って、徹底的に「生徒のこと」を考える。

そこに、論理的・科学的(現実的)な思考があれば、  
「プランの策定と修正」ができ、個別指導の責任を果たせる。

つまり、個別指導は、指導者にとっても、  
**「コミュニケーション力」と「問題解決能力」**  
を高める機会

というモチベーションで取り組みたい。

さあ、「指導の現場」であなた自身が  
「実際の生徒」を見て、考えてください。

「人を変えるには自分が変わる」「子育ては親育て」  
などと言われるように、教育とは、生徒に与えているのではなく、  
指導者が成長させてもらっているものです。  
「完璧な指導」には永久に辿り着きません。  
しかし、それを求めて取り組んでいきたいものです。

ご清聴ありがとうございました。

あなたの学習をサポートします。  
**Supports** サポーツ京田辺  
個別指導 学習塾

<http://www4.ocn.ne.jp/~supports/>

TEL&FAX **0774-65-1316**

講師スタッフ 随時募集中

